



NTT東日本関東病院 臨床研修センター

初期研修医

1学年:内科系6名、外科系6名

2学年合わせて24名

当院における初期臨床研修の歴史

- 1959年度 医師実地修練生教育開始
- 1968年5月 厚生省の指定による臨床研修病院
レジデント研修開始、レジデント研修委員会開催開始
- 1999年 レジデント部会長に落合慈之脳神経外科部長が就任
- 2002年 研修プログラムの大改編
研修管理委員会委員長: 亀山周二泌尿器科部長
- 2003年 研修管理委員会委員長: 臼杵憲祐血液内科部長
- 2004年 研修管理委員会委員長: 林道夫糖尿病内分泌内科部長
7月 卒後新臨床研修制度開始(内科系6名 外科系6名)
- 2006年 研修管理委員会委員長: 吉澤利弘神経内科部長
- 2009年 新規卒後臨床研修評価受審
- 2011年 更新卒後臨床研修評価受審
- 2014年 更新卒後臨床研修評価受審
- 2018年 研修管理委員会委員長: 渋谷祐子高血圧腎臓内科部長
- 2018年 更新卒後臨床研修評価受審
- 2022年 研修管理委員会委員長: 赤羽敦也ガンマナイフセンター長
12月 更新卒後臨床研修評価受審

研修管理委員会の構成

委員長	赤羽ガンマナイフセンター長
プログラムA責任者	松下総合診療科部長・リウマチ膠原病内科部長・循環器内科主任医長
プログラムB責任者	佐藤外科部長
医師	市川血液内科部長/ 佐々江国際診療科部長/ 日下部放射線科医長/ 神谷脳血管内科主任医長/ 田中外科医長/大嶋整形外科医長/佐藤高血圧・腎臓内科医師/ 藤田肝胆膵内科医長/ 古殿高血圧・腎臓内科主任医長
研修医	2名(当番制)
看護師	天野主任看護師長
コメディカル	福地放射線部技師長/佐藤薬剤部薬剤長/田澤臨床検査部副技師長/ 井手総合相談室社会福祉士
事務	高橋人事・育成担当課長
外部委員	川崎看護局長(OZAK会) / 藤島総合診療科部長(NTT東日本伊豆病院) / 江頭総合研修センター長(東京大学医学部附属病院) / 林救急科部長・救命救急センター長(日赤医療センター)
事務局	松澤育成担当/ 元山育成担当/塩谷育成担当

研修プログラムの特徴-1

卒後2年間の初期研修において、すべての研修医に対し、まずは医師としての基本的な人格を育成し、医学・医療に対する社会的要請を認識しつつ、プライマリケアを中心とした基本的な診療能力を身につけさせることが、この研修プログラムの主目的である。



研修プログラムの特徴-2

- このプログラムでは、地域の基幹病院であり、これまで全国公募の下、研修医指導の実績があるNTT 東日本関東病院で集中的に研修目標の習得を行なう。
- 同様の診療・指導体制をとることができるNTT 東日本伊豆病院にて地域医療研修を行い、都心では不十分と思われるこの分野での研修を補完していることが特徴となっている。
- 症例数の少ない都心での小児科研修にあたっては、東京大学医学部附属病院にて小児科研修を行う。
- 日本赤十字社医療センターでの救急科研修も選択可能。



■プログラムA（内科系）研修スケジュール例

1 年目					2 年目						
内科：7科	外科	麻酔科	一般外来	救急科	脳血管内科 (SCU)	産婦人科	小児科 東大	精神神経科	伊豆病院 (地域医療)	放射線科	選択科
7ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	6ヶ月

【1年目】

■内科必修7科： 消化器（肝胆膵）、循環器、呼吸器、腎臓、糖尿病、脳神経、血液

必修研修科

選択研修科

■選択科：なし

※ 1 年次の必修内科は7科と幅広く、初期臨床研修において経験すべき内科疾患を経験することができる。

※ 一般外来4週、麻酔科4週、外科は8週、救急科4週も1年次にローテーションすることになっている。

【2年目】

■選択科～8週間～

消化器（肝胆膵 or 消化管）、呼吸器、脳神経内科、脳血管内科、血液内科、腎臓内科、総合診療科から1科選択

■選択科～残りの期間（約4か月）～

感染症、リウマチ膠原病、消化管内、脳血管内、腫瘍、緩和、心臓血管外科、脳神経外科、ガンマナイフ、泌尿器、乳腺、形成、皮膚、眼、耳鼻・頭頸部、ペイン、スポーツ整形、リハ、病理、3次救急(日赤)または1年目2年目の必修科を再度研修

※ 2 年次には、プログラムBと共通の地域医療4週(伊豆病院)、脳血管内科(SCU)4週、小児科4週、産婦人科4週、精神神経科4週、放射線科4週以外に残りの6か月を約4週ごとに選択できる。

■プログラムB（外科系）研修スケジュール例

1 年目					2 年目							
内科：5科+1科	外科	麻酔科	一般外来	整形外科	救急科	脳血管内科 (SCU)	産婦人科	小児科東大	精神神経科	伊豆病院 (地域医療)	放射線科	選択科
6ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	5ヶ月

【1年目】

■内科必修5科：消化器（肝胆膵）、循環器、呼吸器、腎臓、糖尿病

■選択科（内科）：脳神経 or 血液 から選択

必修研修科

選択研修科

※術前/術後管理に欠かすことができない5科を必修内科とし、加えて1科を選択としている。

※外科系医師にとって基本的な知識と手技を習得するため、1年次に外科12週（プログラムAでは8週）、整形外科（プログラムAでは必修でない）4週が必修となっているのが特色である。

※一般外来4週と麻酔科4週はプログラムAと共通である。

【2年目】

■選択科～8週間～

外科、産婦人科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、泌尿器科から1科選択

■選択科～残りの期間（約3か月）～

感染症、リウマチ膠原病、消化管内、脳血管内、腫瘍、緩和、心臓血管外科、脳神経外科、ガンマナイフ、泌尿器、乳腺、形成、皮膚、眼、耳鼻・頭頸部、ペイン、スポーツ整形、リハ、病理、3次救急(日赤)または1年目2年目の必修科を再度研修

※2年次には、プログラムAと共通の地域医療(伊豆病院)4週、脳血管内科(SCU)4週、小児科4週、産婦人科4週、精神神経科4週、放射線科4週と救急科を4週、残りの5か月（プログラムAは6か月）を約4週ごとに選択できる。

（実際の研修スケジュールは研修医毎に異なります。）

教育に関連する行事



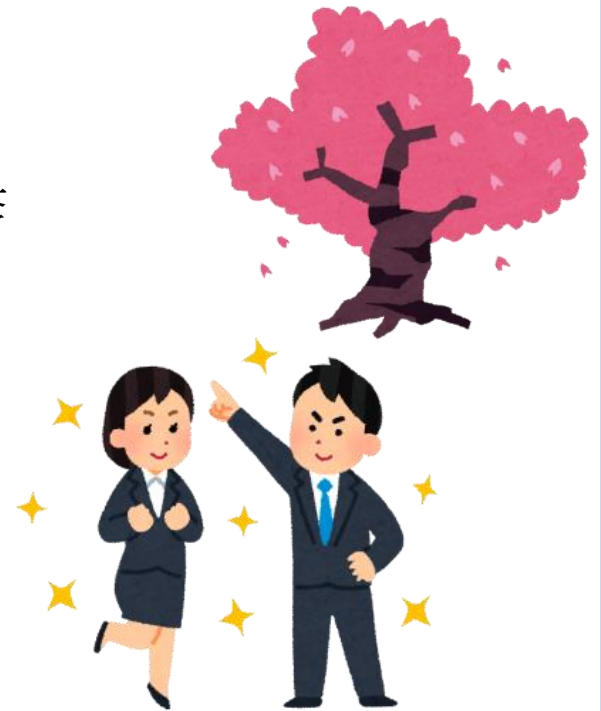
○ オリエンテーション:

診療を開始するまでの期間に、全研修医を対象にオリエンテーションを行う。オリエンテーションでは、実際の診療を開始する上ですべての研修医に共通に必要な研修項目として、医師の心得、インフォームド・コンセント、電子診療録の扱い方、保険診療、諸検査、放射線取り扱い、薬剤処方、書類の取り扱い、当直体制・救急患者の対応、院内感染対策、リスク管理、図書館・文献利用、等を主に実習によって研修する。

また、初年度に基礎研修科目への配属時に、研修医は担当指導医から、各科の科内ルール、診察法・検査法等についてのオリエンテーションを受ける。

2024年4月に実施した研修医向けオリエンテーションより抜粋

- 4月1日(1日目) ・入社式 ・院内クルーズ ・看護部や人事育成担当の講義
・保険診療、診療情報関係の講義
- 4月2日(2日目) ・NTT社会的責任と人権啓発の講義
・情報倫理や環境活動についての講義
・感染管理対策について
- 4月3日(3日目) ・外部研修センターにて採血・点滴研修
- 4月4日(4日目) ・新卒者マインドセット研修(1日目)
・当直見学開始(～22日まで)
- 4月5日(5日目) ・新卒者マインドセット研修(2日目)
・血液および血液製剤の取扱いの講義
・当院の医療安全体制について
- 4月8日(6日目) ・縫合・包帯交換等実習
・クロスマッチ研修 ・自己血採血研修
- 4月9日(7日目) ・2年目研修医による病棟の頻用指示に関する勉強会



研修会／勉強会／検討会／カンファレンス

クリニカルボード	毎週	ICLS講習会	1回
クリニカルカンファランス(診療科)	毎月	BLS(一時救命処置)研修	1回
キャンサーボード	毎月	ACLS(二次心肺蘇生法)研修	1回
デスカンファレンス(CPC)	毎月	鎮静薬研修	1回
感染対策研修講演会	年2回	エコー研修	3回
医療安全研修(リスク管理講習会)	年2回	POCT研修	1回
総合消防訓練	年1回	放射線読影	毎週
災害トリアージ訓練	年1回	総診症例検討会	毎週
疼痛講習会	年1回	医療英会話	毎週
電子診療録講習会	年2回	Journal Club:論文検討会	毎週
病院幹部と研修医の意見交換会	年2回		



研修医参加の委員会

- 研修管理委員会
- 感染対策委員会
- 医療安全管理委員会
- 救急委員会
- 拘束ゼロWG
- 転倒転落WG



研修医参加のイベント

- レジナビフェア 毎年7月頃
- 総合防災訓練 毎年10月頃



研修医が自主的に行っている勉強会

毎週水曜日AM7:00～

過去のテーマ（2016年より開始）

- ・CPA対応 ・C-HOT(胸痛) ・t-PAガイドライン変更点
- ・輸液 ・胸部X線写真 ・酸素投与 ・心電図 ・血液ガス
- ・脳卒中 ・腹痛へのアプローチ ・整形外科疾患 ・めまい ・NHCAP
- ・TPN ・ウェルニッケ脳症 ・睡眠薬 ・せん妄 ・不穏 ・鎮痛薬
- ・ERでの小外科 ・SHOCK ・抗血栓療法 ・虫垂炎 ・イレウス ・腸閉塞
- ・気管支喘息 ・人工呼吸器とモード ・腹部単純写真 ・Af ・失神
- ・膵炎 ・貧血 ・皮疹 ・外用薬 ・循環作動薬 ・ステロイドの基礎知識
- ・AKI ・利尿薬 ・2型糖尿病治療のエビデンス ・心エコー ・ARDS
- ・肝腎症候群 ・降圧薬の使い方 ・高血圧緊急症 ・栄養療法 ・心不全
- ・てんかん ・顔面神経麻痺 ・抗菌薬の使い分け ・敗血症
- ・頻用薬の使い分け ・ショックの対応 ・縫合糸の選択 ・抗菌薬 ・創傷処置
- ・栄養管理 ・Naについて ・医療英語 ・インフルエンザ COVID-19
- ・人工呼吸器 ・肝機能障害 ・S-HOT ・胃薬 ・ICU管理 他

研修医業績(2023~2024年度)

	学会名	演題
金澤賢司	第690回日本内科学会 関東甲信越地方会	サルコイドーシスとの鑑別を要した結核性腹膜炎の一例
金澤賢司	第273回日本循環器学会 関東甲信越地方会	2枝同時閉塞の亜急性ステント血栓症を発症した 特発性血小板減少性紫斑病の一例
吉野大樹	第693回日本内科学会 関東地方会	感染を契機に初発心不全をきたした異所性ACTH産生腫瘍の一例
吉野大樹	第54回日本腎臓学会 東部学術大会	早期胃癌を合併したネフローゼ症候群を呈するIgA血管炎に 癌根治術とステロイド療法が奏功した一例
関沢悠紀彦	第96回日本胃癌学会総会	ロボット支援下幽門側胃切除術・B-II再建後の嘔吐に対して 腹腔鏡下残胃遠位側切除・R-Y再建を行った一例
藤井崇仁	第121回日本内科学会講演会 医学生・研修医・専攻医の 日本内科学会ことはじめ	全身性サルコイドーシスを背景としたBartter様症候群に対して ステロイドが著効した一例
米津詞音	第121回日本内科学会講演会 医学生・研修医・専攻医の 日本内科学会ことはじめ	外国人患者であることが治療選択・対応に影響した膿胸の一例
霜田晴雅	第690回日本内科学会 関東甲信越地方会	腸球菌による上腸間膜動脈における感染性動脈瘤の一例
藤田和己	第85回臨床外科学会総会	アンケートから見えた初期研修医・外科専攻医のニーズ
藤田和己	第36回日本内視鏡外科学会総会	2回にわたる開腹歴のある残胃癌に対して腹腔鏡下残胃亜全摘を 施行した1例

初期臨床研修修了者進路(過去6年分)

	H31. 3 (H29.4採用)			H32. 3 (H30.4採用)			R3. 3 (H31.4採用)		
		病院名	診療科		病院名	診療科		病院名	診療科
内科系	1	自治医科大学付属病院	消化器内科	1	当院	血液内科	1	東京大学医学部付属病院	耳鼻咽喉科
	2	東京大学医学部付属病院	耳鼻咽喉科	2	当院	消化器内科	2	東京大学医学部付属病院	神経内科
	3	当院	放射線科	3	焼津市立総合病院	小児科	3	さいたま赤十字病院	呼吸器内科
	4	当院	循環器内科	4	東京大学医学部付属病院	血液内科	4	当院	耳鼻咽喉科
	5	日本医科大学付属病院	循環器内科	5	東京大学医学部付属病院	小児科	5	当院	呼吸器内科
	6	東京大学医学部付属病院	脳神経内科	6	国立国際医療研究センター	呼吸器内科	6	—	—
外科系	7	横浜市立大学付属病院	消化器内科	7	当院	泌尿器科	7	東京医科歯科大学病院	救急科
	8	当院	外科	8	東京大学医学部付属病院	耳鼻咽喉科	8	東京大学医学部付属病院	泌尿器科
	9	山梨大学医学部付属病院	消化器外科	9	当院	外科	9	当院	脳神経外科
	10	山梨大学医学部付属病院	整形外科	10	自治医科大学付属病院	泌尿器科	10	当院	外科
	11	当院	産婦人科	11	東京大学医学部付属病院	整形外科	11	東京医科歯科大学病院	
	12	当院	脳神経外科	12	昭和大学付属病院	産婦人科	12	東京大学医学部付属病院	整形外科

	R4. 3 (R2.4採用)			R5. 3 (R3.4採用)			R6. 3 (R4.4採用)		
		病院名	診療科		病院名	診療科		病院名	診療科
内科系	1	東京大学医学部付属病院	小児科	1	東京医療センター	腎臓内科	1	国立国際医療研究センター	脳神経外科
	2	日本赤十字社医療センター	消化器内科	2	東京大学医学部付属病院	小児科	2	当院	循環器内科
	3	横浜みなみ共済病院	呼吸器内科	3	当院	病理診断科	3	東京大学医学部付属病院	アレルギー・リウマチ内科
	4	当院	循環器内科	4	国立国際医療研究センター	呼吸器内科	4	東京大学医学部付属病院	放射線科
	5	東京大学医学部付属病院	皮膚科	5	順天堂大学医学部附属順天堂医院	乳腺外科	5	東京大学大学院医学系研究科	病因・病理学専攻
	6	東京通信病院	消化器内科	6	当院	血液内科	6	東京大学	脳神経内科
外科系	7	当院	消化器外科	7	北九州市立医療センター	産婦人科	7	東京医科歯科大学	外科
	8	東京医科歯科大学付属病院	産婦人科	8	横浜国立大学附属市民総合医療センター	呼吸器外科	8	当院	外科
	9	聖路加国際病院	産婦人科	9	東京大学医学部付属病院	整形外科	9	東京医科大学	皮膚科
	10	神奈川県立がんセンター	泌尿器科	10	横浜国立大学附属病院	脳神経外科	10	青森県立中央病院	心臓血管外科
	11	名古屋大学病院	脳神経外科	11	国立国際医療研究センター	消化器内科	11	横浜労災病院	消化器内科
	12	東京医科歯科大学付属病院	外科	12	東京都立墨東病院	NICU	12	当院	肝胆脾内科

当院で
あなたも一緒に学びましょう！
お待ちしております！！

臨床研修センター・研修医一同

